

## お詫びと訂正

日本溶射学会学会誌「溶射」第50巻第3号の学会賞受賞紹介文(P.122)の中で、恒川好樹先生のご所属を誤記したまま掲載してしまいました。発行前に確認を行いましたが、思い込みにより、誤記を見落としておりました。このようなミスは有ってはならないことであり、今後は細心の注意を払い、二度と起こらないよう確認体制を強化していく所存でございます。ここに、心よりお詫びを申し上げ、訂正させていただきます。

【正】豊田工業大学

【誤】愛知工業大学

編集委員長 小川和洋

## 【学会賞】

### ■ 溶射による高品位複合材料創製技術確立への貢献



恒川 好樹 氏

(豊田工業大学)

現在、豊田工業大学特任教授であられる恒川好樹氏は、溶射分野での永年の研究実績とともに当学会においては、中部支部長、編集委員長、研究・企画委員長、副会長などを歴任され、2003年から2005年まで当学会の前身である日本溶射協会会長を務めました。

学会の体制整備などに大きな貢献をされたこともあり、当分野で知らない人のいない方があります。恒川氏の学術的な貢献を顕彰するとともに長年のご努力に報いるため、今回一般社団法人日本溶射学会の第1回学会賞受賞者としてご推薦申し上げる次第であります。

恒川氏の御業績をまとめると以下の通りであります。

1. 独自開発した種々の反応性プラズマ溶射法を駆使し、種々のAl合金基複合材料創製プロセスの基盤を確立されたこと。またこれら成果を国内外に向けた高質の学術論文として公開され、多くの学術賞を受賞されたこと。
2. 上記研究活動を通じ、当該学術技術分野を担う後続の人材育成に尽力されたこと。
3. これら諸活動としての貢献が顕彰され、ASM Internationalフェロー：FASMに認証されておられること。

なお恒川氏は本学会からは過去2回論文賞を受賞されておられるとともに、現在も活発に学術研究に携わられておられます。また本学会では監事としての重任も果たしておられます。